

くまびょう

133号

NEWS

くまびょう
NEWS2008年
7月1日

[発行所]

国立病院機構熊本医療センター

〒860-0008
熊本市二の丸1番5号
TEL (096) 353-6501代
FAX (096) 325-2519

病診連携これからの取り組み

— 地域医療連携室と医療福祉相談室 —

先生方には、いつも多数の患者さまをご紹介頂き大変ありがとうございます。当院での病診連携は、外来診療を地域医療連携室が主に担当し、退院時の転院調整を主に医療福祉相談室が担当しております。

地域医療連携室では、紹介の先生方からの外来診察「FAX紹介」の受付を行います。当院では電子カルテによる外来予約システムを運用しており、FAX紹介頂いた患者さまの診察時間予約まで行って頂くと診察の待ち時間が短縮致します。外来診察終了後は、診療情報提供書を診察医が記載し郵送したかをチェックしています。未記載であれば診察医に記載を促し、ご紹介頂いた先生方へ少しでも早く診療の結果をお手元にお届けできるように努めております。また、開放型登録医の先生方から紹介頂いた患者さまの共同指導の案内も行ってまいりますのでお気軽にご相談下さい。共同指導の患者負担分の代理徴収時に振り込み手数料が発生し、開放型登録医の先生方にはご迷惑をお掛けしておりましたが、当院で負担する準備を進めております。

医療福祉相談室では、メディカルソーシャルワーカー

が転院先のない患者さまの転院調整を行っております。患者さまの状況、必要な処置、障害の程度、介護度などに合わせ、受け入れ可能な病院を探し、ご快諾頂いた医院・病院に転院して頂いております。

医療福祉相談室で決定した転院先病院の概要を、担当医が知らないために患者さまに十分な説明ができないこともあります。現在、病院紹介のためにご訪問頂きご持参して頂いた病院紹介のパンフレットなどを院内LANで職員に紹介する準備を進めております。また、病院紹介のパンフレットなどを郵送して頂けると転院調整時に参考となり大変助かります。ご協力の程、よろしくお願い致します。

平成20年2月8日、当院が地域がん診療連携拠点病院の指定を受けたことに伴い、がん相談支援センターが併置されました。今後は、がん地域連携のため、がん患者の治療や経過観察をご依頼する機会も増えます。ご支援のほど、よろしくお願い致します。

(地域医療連携室長 片渕 茂)

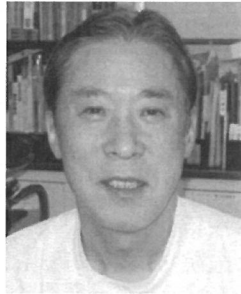


片渕室長と病診連携スタッフ一同（写真前列左より 前川MSW、片渕室長、木下MSW、写真後列左より 宮本、皆島、橋本MSW、藤本MSW、高田）



開業医と勤務医の団結共闘を！

徳永循環器科内科医院
院長 徳永 雅實



先生方とスタッフの皆様には、救急並びに一般患者さんの診療で大変お世話になり、紙面をお借りして感謝と御礼を申し上げます。

私は、昭和49年に慈恵医大卒業後、体研成人科（現在の代謝内科）に研修医として入局し、研修2年目に国立熊本病院循環器科に配属され、原口、右山先生の指導下で糖尿病、循環器、脳血管疾患など勉強させて頂き、計3年半程勤務致しましたが、在職中に神戸中央市民病院循環器科の吉川先生の下で心エコーの研鑽と、救急研修医派遣事業で、東京新

宿の榊原記念病院でも研修する機会に恵まれ、有意義な勤務医時代を過ごすことが出来ました。引き続き済生会熊本病院循環器科に勤務し、外牧、早崎、外村先生のご指導下、循環器疾患の救急医療、冠動脈造影、ペースメーカー植え込み等を多数経験させて頂き、その後一般内科と皮膚科を勉強して、昭和医大形成外科から美容外科への道を歩んだ兄に代わり、3代目として今は亡き父と共に山鹿で開業して、早26年経ちました。現在子供達も、長男が循環器科医、娘も小児科医として勤務しており、親としての責務が終わって安堵する反面、相次ぐ低医療費政策下での制度改悪と萎縮診療に誘導する個別指導強化で医療界に暗雲が漂い始め、開業医の将来像も見えなくなって、診療への熱意の喪失と共に子供に医院を継承させるべきか憂慮する日々を送っています。近い将来に、医療現場の声が届き、次の医療を担う若い人達が夢や希望や情熱を持って仕事に打ち込める医療制度や職場環境と職責や技術に相応しい保険点数が確立される様、勤務医（医療技官も含めて）の先生達と一致団結、共闘する事で、今の政治状況や独断専行する官僚機構に変革を齎し、医療界に明るい未来が訪れる事を心から願っています。

国立病院機構熊本医療センターの先生方には、今後も患者さんの診察や入院等でお手数を掛けるかと思いますが、その折にはご高診並びにご高配の程宜しく御願ひ申し上げます。

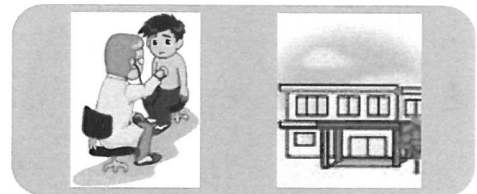
FAX紹介での時間予約制をご活用下さい

日頃、多くの患者様をご紹介頂きまして誠に有り難うございます。紹介患者様の待ち時間を短くするためにFAX紹介で時間予約ができます。月から金の日勤帯です。

当院のFAX紹介用紙に受診希望日を入れてお送り下さい。担当者がカルテを作成し希望日に時間予約を取りましてFAXにて返信致します。是非、FAX紹介での受診日の指定と時間予約制をご活用して頂き、患者様の待ち時間短縮にご協力下さい。よろしく御願ひ申し上げます。

(経営企画室長 堤内 俊一)

紹介患者様FAX時間予約のお願い



FAXにて希望の日時を申込下さい。

予約時間を返信いたします。



特色

熊本県で唯一、骨髄バンク、臍帯血バンクに認定された骨髄移植実施施設であり、九州でトップクラスの症例数の多い骨髄移植センターを有します。

白血病、悪性リンパ腫などの造血器腫瘍、再生不良性貧血、精巣がんなどに積極的に骨髄移植、末梢血幹細胞移植、臍帯血移植などを行っています。

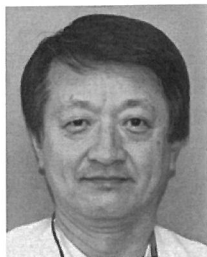
また、難病とされます関節リウマチ、SLEなどの自己免疫疾患（膠原病）にも取り組み、多数の患者様を診療しています。

2008

診療科紹介(2)

総合医療センター (2)

血液・膠原病内科(骨髄移植センター)



河野 文夫

内科一般、白血病、リンパ腫、貧血、出血傾向、膠原病

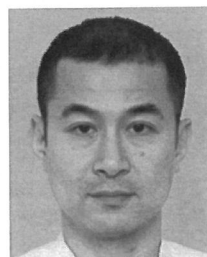
日本内科学会総合内科専門医
日本内科学会指導医
日本血液学会専門医
日本血液学会指導医
外国人医師臨床修練指導医
日本臨床腫瘍学会暫定指導医
熊本大学医学部臨床教授
エジプトスエズ運河大学医学部客員教授
インфекションコントロールドクター



清川 哲志

内科一般、白血病、リンパ腫、貧血、膠原病、移植医療、総合内科

日本内科学会指導医
外国人医師臨床修練指導医
熊本大学医学部臨床教授



日高 道弘

内科一般、白血病、リンパ腫、貧血、膠原病、移植医療

日本内科学会指導医
日本内科学会総合内科専門医
日本血液学会指導医
日本血液学会専門医
外国人医師臨床修練指導医
日本臨床腫瘍学会暫定指導医
インフェクションコントロールドクター



長倉 祥一

内科一般、白血病、リンパ腫、貧血、膠原病、移植医療
後天性免疫不全症 (AIDS)



武本 重毅

内科一般、白血病、リンパ腫、ATL、貧血、膠原病、移植医療

日本内科学会認定医
日本内科学会指導医
外国人医師臨床修練指導医
日本医師会認定産業医
日本臨床腫瘍学会暫定指導医



塚本 敦子

内科一般、白血病、リンパ腫、貧血、膠原病

日本内科学会総合内科専門医
日本内科学会指導医
日本血液学会専門医
日本血液学会指導医



原田奈穂子

内科一般、白血病、リンパ腫、貧血、膠原病、移植医療

日本内科学会認定医



榮 達智

内科一般、白血病、リンパ腫、貧血、膠原病、移植医療、緩和ケア

日本内科学会認定医
日本内科学会指導医
日本血液学会専門医



井上 佳子

内科一般、白血病、リンパ腫、貧血、膠原病、移植医療



河北 敏郎

内科一般、白血病、リンパ腫、貧血、膠原病、移植医療



松井 崇浩

内科一般、白血病、リンパ腫、貧血、膠原病、移植医療

医学シリーズ

No. 155 消化器病センター 消化器科 (No.14)

最近のトピックス

C型慢性肝炎インターフェロン治療 に対する公費助成

ーインターフェロン療法地域連携クリティカルパスー



消化器病センター
消化器科医長兼
超音波診断室長

杉 和 洋

C型慢性肝炎患者は本邦で200万人におよぶと推計され、現在国を挙げての対策がなされつつあります。治療の進歩は目覚ましく、ペグインターフェロン・リバビリン併用療法により持続ウイルス陰性化率は今や50%にまで向上しています。治療人口の拡大の結果、その効果予測とともに治療期間の延長あるいは治療中止が必要な症例の見極め、副作用や肝臓がんなどの併発症の早期発見が重要になってきています。これらをすべて一般医療機関で実施するのは困難な場合が多く、基幹病院との連携が望まれます。これまで各施設において治療法の決定はもとより観察・検査項目の設定が様々で、外来における標準的診療手順の開発と運用が望まれてきました。

そこでペグインターフェロン・リバビリン併用療法とペグインターフェロン単独療法に対して地域連携クリティカルパス（パス）を作成しました。作成に当たり、当院関連施設に対してC型慢性肝炎診療上の問題点と連携への要望に関するアンケート調査を行いました

た。その結果、標準的診療手順としての外来パスの開発と運用が望まれていることが判明しました。これを基にペグインターフェロン・リバビリン併用療法地域連携パスを作成し、2008年4月に運用を開始しました。また、5月よりペグインターフェロン単独療法についても運用を開始しています。電子カルテ内で作成し、印刷したものを連携施設に送り、医療情報を記入、当院受診時に最新のデータとともに上書きし、電子カルテ内に保存します。これを繰り返すことで医療情報の共有化を図りました。

折しもこの4月22日より国と熊本県による肝炎治療特別促進事業が開始されました。肝疾患診療連携拠点病院および専門医療機関（指定医療機関）とかかりつけ医（治療実施医療機関）との連携が基本となり、この点からも同パスの運用が重要と考えられます。この制度ではウイルス駆除を目指す患者様1人につき1回限り1年間の医療費助成となり、出来れば副作用による中止や不完全な治療による無効・再燃となることを避け、患者様には治癒して頂きたいものです。今後県下どの地域どの医療機関でも良質で安全な医療が受けられるよう、標準的診療手順としての県下統一パスが導入されることを期待しています。

この4月より当院は日本肝臓学会認定施設となりました。C型慢性肝炎症例がございましたら、消化器科肝臓専門外来にご紹介頂きますようお願い致します。

ーインターフェロン療法地域連携クリティカルパスー

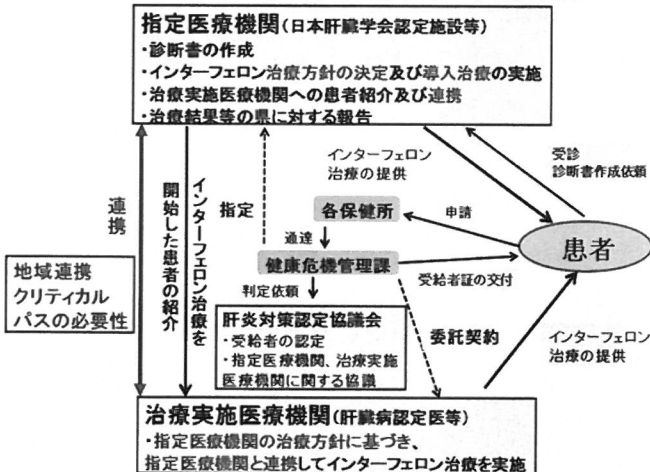
ペグインターフェロン・リバビリン併用療法地域連携クリティカルパス

項目	内容
1. 患者の紹介	各保健所から健康危機管理課へ紹介
2. 診断書の作成	指定医療機関にて作成
3. 治療方針の決定	指定医療機関にて決定
4. 治療の実施	治療実施医療機関にて実施
5. 治療結果の報告	指定医療機関から健康危機管理課へ報告

ペグインターフェロン・リバビリン併用療法地域連携クリティカルパス(医師専用)

患者ID	氏名	性別	年齢	紹介元	紹介日	診断書作成日	治療開始日	治療終了日	経過

熊本県肝炎治療特別促進事業の実施体制



研修医レポート

臨床研修医

1年次 ^{おおさこ}大迫 ^{たかこ}貴子



はじめまして。2008年4月より初期臨床研修プログラムで研修をさせて頂いている、大迫貴子と申します。2008年3月に熊本大学医学部を卒業し、この春医師としての第一歩を歩み始めたばかりです。4、5月は麻酔科で研修させて頂き、循環動態をどう考えるか、呼吸状態をどう考えるかなど多くの大切なことを学ばせて頂きました。現在は、外科で研修をさせて頂いてお

ります。研修が始まり3ヶ月経ちましたが、まだ慣れないことばかりで指導医の先生、周りの方々に大変ご迷惑をお掛けしていると存じます。少しでも早く患者様のお役に立てるよう精一杯努力しているつもりですが、日々自分の勉強の足りなさを痛感しているところでございます。私が、熊本医療センターの初期研修プログラムを選択した理由は、日本有数の救急車搬入の実績をもつ当院で、様々な患者様に対するプライマリーケアを学ぶことができることです。研修2年間を終了した時点で、3年目からの専門分野に進むためのしっかりとした土台作りができると考え、当院の初期研修プログラムを選択させて頂きました。これから私は内分泌・代謝内科、腎臓内科、神経内科、救命救急とローテートしていきますが、どの科においても精一杯頑張っていく所存でございます。これからもご指導、ご鞭撻のほどよろしくお願い致します。

臨床研修医

1年次 ^{たにがわ}谷川 ^{ひろき}広紀



平成20年3月に鹿児島大学を卒業致しまして、4月から国立病院機構熊本医療センターで研修させて頂いております谷川広紀と申します。当院の研修医として2年間お世話になります。

研修が始まって2ヶ月半が過ぎ、学生から社会人へと環境ががらりと変わり、戸惑うことも多かったです。皆さんのお力添えもあり、何とか病院に慣れつつある今日この頃であります。

今まで外科と循環器科で研修をさせて頂きました。外科では、消化器から乳腺、呼吸器にいたるまで幅広い分野の手術に参加することができ、大変面白く貴重

な経験をすることができました。また、病気自体は治せなくても、末期癌の患者様の癌性疼痛を緩和して患者様に笑顔が戻ったり、癌性イレウスで何も食べられなかった患者様が手術によって食べられるようになってとても感謝されたりするのを見るにつけ、医師の本来の役割が何であるかを学ぶことができ、とても勉強になりました。

また、最初の研修科ということで、社会人としての、また主治医としての心構えを教えて頂き、大変有意義な研修をすることができました。

現在は循環器を研修させて頂いており、心不全の治療をどのように行うか勉強したり、また右心カテーテル検査を実際に自分でやらせて頂いたりして、悪戦苦闘の毎日を過ごしています。

これからもご迷惑をおかけすることが多々あることと思いますが、ご教授の程どうぞよろしくお願い致します。

臨床研修医

1年次 ^{たら}太良 ^{しろう}史郎

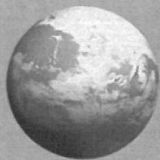


はじめまして。4月より熊本医療センターにて初期臨床研修を開始しております1年目研修医の太良史郎と申します。今年の3月に熊本大学を卒業し、こちらの病院の管理型プログラムの下、2年間熊本医療セン

ター単独で研修をさせて頂く予定となっております。

研修医としての生活がスタートしてから、約三ヶ月が経過しました。学生から社会人、医学生から医師へと自分自身の立場と周囲の環境の目まぐるしい変化に一抹の不安と戸惑いを覚えながらも、忙しい日々のなかで充実した研修を行うことができています。

微力ではありますが、勤務を通じて社会に貢献することができればと考えております。まだまだ未熟者ではありますが、病院職員の皆様御指導・御鞭撻の程どうぞよろしくお願い申し上げます。



国際医療協力

平成20年度 第5回 『ワクチン予防可能疾患の疫学及び対策セミナー』 研修コース

国立病院機構熊本医療センターは、国内唯一の国際医療協力基幹施設として、JICA（国際協力機構）、ACIH（国際保健医療交流センター）及び熊本県と連携し、積極的に国際医療協力を推進しています。

平成20年6月23日よりバングラデシュをはじめ8カ国9名が「平成20年度 ワクチン予防可能疾患の疫学

及び対策セミナー」に参加し、当院の研修棟に宿泊しながら研修を行っています。

本コースはJICAからの依頼によるもので、ポリオ根絶を中心とした研修内容で、途中国立感染研究所の見学実習を行い7月18日まで研修が行われます。

（文責：庶務班長 牧野 功）

【平成20年度 『ワクチン予防可能疾患の疫学及び対策セミナー』 コース】 2008.6.23～2008.7.18

写 真	氏 名 (国名)	職業・所属等	写 真	氏 名 (国名)	職業・所属等
	Dr. Kamrul Islam カムルル (バングラデシュ)	保健家族福祉省 保健局 EPI 担当医官		Dr. Jackson Ernsly ジャクソン (ハイチ)	保健人口省 EPI 疫学サーベイ ランス担当
	Dr. Randriamiharisoa Hajamihamina ハジャ (マダガスカル)	予防接種部 フォローアップ監視 及び評価担当		Dr. Aboubacar Kindo Zeinabou ゼイナブ (ニジェール)	保健省 新ワクチン導入部 部長
	Dr. Mahmud Mustafa Zubairu マハムド (ナイジェリア)	国立保健開発局 副局長		Dr. Munir Ahmed Kasi カシィ (パキスタン)	バロチスタン州 EPI 担当官
	Dr. Abdulsalam Ahmed Dabwan Saif サイーフ (イエメン)	保健人口省 疾病 予防サーベイラン ス部AEFI サーベ イランス担当官			
個別研修員					
	Dr. Muhammad Saleem サリーム (パキスタン)	NWFP ペシャワール JICA EPI ポリオ 対策プロジェクト 医官		Dr. Muhammad Mustafa Alam ムスタファ (パキスタン)	NWFP 保健局 EPI 副部長

■ 研修のご案内 ■

第224回 初期治療講座 (会員制)

[日本医師会生涯教育講座 5 単位認定]

日時▶平成20年7月12日(土)15:00~18:00

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

「アレルギー」

- 座長 熊本市医師会理事 齋藤 龍也
 1. 鼻過敏症 国立病院機構熊本医療センター感覚器センター耳鼻咽喉科医長 緒方 憲久
 2. 乳児のアトピー性皮膚炎と食物アレルギー 国立病院機構熊本医療センター小児科 緒方 美佳
 3. 薬疹 国立病院機構熊本医療センター感覚器センター皮膚科医長 加口 敦士

この講座は有料で、年間10回を1シリーズ(年会費20,000円)として会費制で運営しています。但し、1回だけの参加を希望される場合は会費5,000円で参加いただけます。

【問合せ先】国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501 (代表) 内線263 096-353-3515 (直通)

第114回 月曜会 (無料)

(内科症例検討会)

[日本医師会生涯教育講座 3 単位認定]

日時▶平成20年7月14日(月)19:00~20:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

1. 呼吸器内科による胸部X線写真供覧
 国立病院機構熊本医療センター呼吸器センター呼吸器内科医長 柏原 光介
 2. 持ち込み症例の検討
 3. 症例呈示「関節リウマチの治療中の口内炎と発熱」
 国立病院機構熊本医療センター血液・膠原病内科 松井 崇浩
 4. ミニレクチャー「t-PA静注療法と注意点」
 国立病院機構熊本医療センター脳神経センター神経内科 幸崎弥之助

日頃、疑問の症例、興味のある症例、X線写真、心電図等がございましたら、ご持参下さいますようお願い致します。

【問合せ先】国立病院機構熊本医療センター内科部長 清川 哲志 TEL:096-353-6501(代表) FAX:096-325-2519

第84回 最新医学の知識講座(無料)

[日本医師会生涯教育講座 5 単位認定]

日時▶平成20年7月16日(水)19:00~21:00

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

「乳癌治療の最近の進歩」

- 座長 国立病院機構熊本医療センター外科部長 片渕 茂
 熊本大学大学院医学薬学研究部乳腺・内分泌外科学教授 岩瀬 弘敬
 【問合せ先】国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501 (代表) 内線263 096-353-3515 (直通)

第83回 三木会 (無料)

(糖尿病、高脂血症、高血圧を語る会)

[日本医師会生涯教育講座 3 単位認定]

[日本糖尿病療養指導士認定更新のための研修単位<2群>0.5単位認定]

日時▶平成20年7月17日(木)19:00~20:45

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

1. 劇症1型糖尿病の1例 国立病院機構熊本医療センター総合医療センター内分泌・代謝内科
 佐々木潤、西岡裕子、児玉章子、高橋毅、豊永哲至、東輝一郎
 2. 低血糖昏睡がなかなか改善しなかった2型糖尿病の1例
 国立病院機構熊本医療センター総合医療センター内分泌・代謝内科
 西岡裕子、児玉章子、高橋毅、豊永哲至、東輝一郎
 3. 救命し得た糖尿病による気腫性腎盂腎炎の1例
 国立病院機構熊本医療センター泌尿器科 陣内良映、菊川浩明

なお、興味のある症例、疑問・質問のある症例がございましたら、ご持参いただきますようお願い致します。

【問合せ先】国立病院機構熊本医療センター内科部長 東 輝一郎 TEL 096-353-6501 (代表) 内線705

第91回 総合症例検討会(CPC)

[日本医師会生涯教育講座 5 単位認定]

日時▶平成20年7月23日(水)19:00~20:30

場所▶国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

テーマ：心不全治療中に原因不明の意識障害をきたした症例

臨床担当) 国立病院機構熊本医療センター救命救急センター 原田 正公
 病理担当) 国立病院機構熊本医療センター臨床研究部病理室長 村山 寿彦

「3ヶ月前に血管新生療法を行った65歳女性が、呼吸困難のために救急車で運ばれ入院となった。」

*臨床経過の詳細な検討と鑑別診断を行います。最後に病理より、マクロ、ミクロの所見と剖検診断が解説されます。通常のレクチャー(解説)の前に、馴染みの少ない疾患、病態は、その分野に関するミニレクチャーを予定しております。基本的知識を学んだ後で活発なディスカッションをお願い致します。どなたもお気軽に御参加下さい。

【問合せ先】国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター事務局 TEL 096-353-6501 (代表) 内線263 096-353-3515 (直通)

2008年

研修日程表

7月

国立病院機構熊本医療センター 地域医療研修センター

7月	研修ホール	教育研修棟 4階	その他
1日 火		18:00~19:30 血液病懇話会(会)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ
3日 木			7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 代謝内科カンファレンス M
4日 金			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
5日 土	14:00~16:00 第207回 滅菌消毒法講座(会員制) 一般演題 / グループワーク		
6日 日	9:30~15:40 第23回 臨床薬理セミナー(会費制) 「がん治療と疼痛緩和について」 1. 放射線治療の現況並びに副作用対策 2. 乳がんに対する内分泌療法 3. 医療用麻薬の薬理学的特徴と最近の知見 4. がん疼痛緩和とチーム医療	国立がんセンター中央病院放射線治療部部長 角美奈子 熊本大学大学院医学薬学研究部乳腺・内分泌外科学教授 岩瀬弘敏 星薬科大学薬学部薬品毒性学教室教授 鈴木勉 癌研究会有明病院麻酔科 服部政治	[日本医師会生涯教育講座5単位認定] [日本病院薬剤師会生涯研修3単位認定]
7日 月			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
8日 火	19:00~20:30 熊本県臨床衛生検査技師会 一般検査研究班月例会	18:00~19:30 血液病懇話会(会)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ 19~21 泌・放射線科合同ウログラム C
9日 水	18:00~19:30 第53回 国立病院機構熊本医療センタークリティカルパス研究会(公開)		
10日 木			7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 代謝内科カンファレンス M
11日 金			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
12日 土	15:00~18:00 第224回 初期治療講座(会員制) 「アレルギー」 座長 1. 鼻過敏症 2. 乳児のアトピー性皮膚炎と食物アレルギー 3. 薬疹	熊本市医師会理事 齋藤龍也 国立病院機構熊本医療センター耳鼻咽喉科医長 緒方憲久 国立病院機構熊本医療センター小児科 緒方美佳 国立病院機構熊本医療センター皮膚科医長 加口敦士	10~12 楽しく学ぶ基礎看護技術講座 学校(実習室)
14日 月	19:00~20:30 第114回 月曜会(内科症例検討会) [日本医師会生涯教育講座3単位認定]		8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
15日 火		18:00~19:30 血液病懇話会(会)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ
16日 水	19:00~21:00 第84回 最新医学の知識講座 座長 「乳癌治療の最近の進歩」	[日本医師会生涯教育講座5単位認定] 国立病院機構熊本医療センター外科部長 片刈茂 熊本大学大学院医学薬学研究部乳腺・内分泌外科学教授 岩瀬弘敏	
17日 木	19:00~20:45 第83回 三木会 (糖尿病、高脂血症、高血圧を語る会) [日本医師会生涯教育講座3単位認定] [日本糖尿病学会指導士認定更新のための研修単位<2時>0.5単位認定]	19:30~21:00 有病者歯科医療研究会	7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 代謝内科カンファレンス M
18日 金			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
19日 土	13:30~16:30 第111回 看護卒後研修(会費制) 「医療マネジメントと臨床倫理」 宮崎大学医学部社会医学講座生命・医療倫理学准教授 板井孝吉郎 (※今回は看護学校2階教室で行います)		
22日 火	18:00~19:30 第44回 くすりの勉強会(公開)	18:00~19:30 血液病懇話会(会) 19:00~21:00 小児科火曜会	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ
23日 水	19:00~20:30 第91回 総合症例検討会(CPC) [日本医師会生涯教育講座5単位認定] 「心不全治療中に原因不明の意識障害をきたした症例」		
24日 木		19:00~21:00 熊本脳神経疾患懇話会	7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 代謝内科カンファレンス M
25日 金			8:00 消化器病研究会 C 8:00 麻酔科症例検討会 手 17~18 救急部カンファレンス C
26日 土	9:00~18:10 第23回 ナースのための人工呼吸セミナー(会費制) (講演) 1. 呼吸生理と血液ガス 琉球大学医学部救急医学教授 久木田一朗 2. 呼吸管理と看護のポイント 国立病院機構熊本医療センター麻酔科医長・ICU室長 瀧賢一郎 3. 慢性呼吸不全に対する非侵襲的人工呼吸と管理 国立病院機構熊本医療センター呼吸器内科医長 柏原光介 4. 各種病態における呼吸不全の治療 山口大学医学部附属病院先進救急医療センター講師・センター副部長 鶴田良介 <実習>人工呼吸器の取り扱い実習		
28日 月			8:00 MGH症例検討会 C 16~18 泌尿器科病棟カンファレンス 別6 17~18 小児科カンファレンス 外来
29日 火	18:30~20:30 血液研究班月例会	18:00~19:30 血液病懇話会(会)	8:00 救急部カンファレンス C 15~18 外科術前後症例検討会 C 17:30 消化器疾患カンファレンス 心リハ
30日 水	19:30~21:30 臨床口腔外科講演会 座長 熊本県歯科医師会副会長 上田 忠 「歯科小手術の基本」 九州歯科大学口腔顎顔面外科学病態制御学教授 富永 和宏		
31日 木			7:50 整形外科症例検討会 C 17~19 循環器カンファレンス C 17:30 超音波カンファレンス 心リハ 18~19 代謝内科カンファレンス M

(会) 研修センター会議室 C 病院本館2階カンファレンス 手術室控室 別6 別6病棟 外来 小児科外来 M ミーティングルーム 心リハ 心大血管リハビリテーションセンター 学校 看護学校
問い合わせ先 〒860-0008 熊本市二の丸1番5号 国立病院機構熊本医療センター地域医療研修センター
TEL 096-353-6501(代)内線263 096-353-3515(直通)